

2012年(平成24年)

1月7日 土曜日

(日刊)

や遺品を入れて手元供養ができる手作りの筒状の人形「花地蔵」を送り準備を進めている。写真。50体を被災地の支援団体を通じて子ども



ノ京日記
寿寺が、東日本大震災の犠牲者の遺族に遺骨が右京区の西もを亡くした親に届け
◆京都市寿寺が、東が十分な供養をできなか
◆村井定心住職(55)い被災地の現状を知り、計画した。人形は同寺が事務局のNPO法人「自分で考えるラストセレモニーの会」と一緒に作つていい。

◆活動は今後も続ける予定で、村井住職は「供養だけでなく、大切な人を失った遺族のことを見守っているという私たちのメッセージを込め

(峰政博)

